

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070201385		
法人名	社会福祉法人陽気会		
事業所名	グループホーム稲穂		
所在地	長野県松本市梓川梓2758番地3		
自己評価作成日	令和 3年 1月 25日	評価結果市町村受理日	令和 3年 3月 22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kairokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhou_detail_2016_022_kan1=true&JigyosyoCd=2070201385-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 3年 2月 12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

梓川の静かな田園の中にあるグループホーム稲穂は秋には一面黄金色の稲穂に囲まれます。ホームの畑では、雪が解けると草むしりをして、苗を植えます。春のニラに始まりキュウリ・茄子・トマト・オクラ・トウモロコシ・小松菜・大根・サツマイモ・野沢菜と冬が来て畑が雪に埋まるまで沢山の野菜が収穫できます。夜のみそ汁の具のニラをとり、みんなでテーブルを囲んで選別をします。皆さんが自分の家で普通の生活を送るように当たり前のことをして「介護を受ける人」ではなく「生活する主体者」として毎日を過ごしておられます。

感染症の流行により外部と遮断されたような状況になり始めて今までの地域とのつながりの大きさを感じることが出来ました。運営推進会議やご家族の面会時に沢山の情報を頂いていたこと、行事や環境整備では地域の方々、ご家族・民生委員さんに沢山助けってもらっていたこと、本当にありがたいことです。来期は私たちがお返しできること、認知症についての理解を広める活動を昨年敷地内に完成した「ふれあいホール」で行っていききたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近くに清流「梓川」が流れ、周りを広々とした田畑に囲まれ、のんびりとした雰囲気や漂う環境の中に開設15年目を迎えた当ホームがある。「家庭のように共に暮らせるよう家庭的な雰囲気の中でサポートします」他4項目からなる「私たちの目指すもの」という事業所目標を活動の柱とし利用者に寄り添い支援に当たっている。ホールでは100歳の利用者を初めに全利用者が柔らかな笑みを浮かべ職員のリードの基、楽しそうに歌を歌っており、一つの家族として日々の生活を送っている様子が窺え微笑ましく感じられた。昨年の春以降、新型コロナウイルスの影響を受け、外出等の自粛状態が続いているが、利用者にストレスを感じることはないようアイデアを出し合い、ホーム内で楽しめる行事を考え楽しい時が過ごせるよう取り組んでいる。敬老会では厚化粧をした職員「二人羽織」で皆で歌を歌い、全員が笑い駆け楽しい時間を過ごしたという。更に、節分には好きな物を具にした「恵方巻」を沢山作り、食べながらゲームを行い楽しい一日を過ごしている。また、開設以来積極的に地域の皆様との交流を行い、日々の生活の中でも挨拶を交わし野菜の差し入れ等を頂いたり、ホームの行事にも参加をいただき、楽しいひと時を共にしている。地域の一員として活動を続けているが、現在は新型コロナウイルスの影響を受け交流活動が出来ない残念な状況が続いている。感染収束後には地域に密着し開かれた施設として再度活動する予定である。敷地内に昨年完成した「ふれあいホール」を積極的に活用して「認知症サポーター養成講座」や「オレンジカフェ」等の開催に向け準備が進められており、地域の皆様とのふれあいの場となることが期待されている。訪問して感じることは管理者をはじめ全職員が、利用者に日々の暮らしを快適に過ごしていただくという強い思いを持っており親近感を覚えるホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		